

研究課題名	「G-CSF とplerixaforの併用による末梢血幹細胞採取の特徴と注意点」
研究機関名	武蔵野赤十字病院 輸血部
研究責任者	研究代表者 武蔵野赤十字病院 輸血部長 高野弥奈
研究期間	審査承認日～2020年5月30日
研究の意義・目的	CXCR4拮抗剤のplerixaforはG-CSFと併用すると末梢血幹細胞数を増加させてpoor mobilizerを減らすことが知られている。当院でもその有効性については確認している。しかしながら、実際の採取に関しては不明な点が多い。今後の同治療薬による末梢血幹細胞採取をより円滑に行うためこれまでの採取の特徴と注意点を後方視的に解析してみた。
研究の方法 (対象期間含む)	2017年2月にplerixaforが販売されてから2019年12月までに当院でplerixaforと G-CSFを併用して末梢血幹細胞採取を行った全例の採取経過についてカルテ上のデータを元に解析を行った。対象として当院でG-CSF単剤で幹細胞採取を行った症例のデータを比較することによってplerixaforと G-CSFを併用して幹細胞採取を行う場合の特徴と注意点を考察した。
①試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む) ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	①plerixaforと G-CSFを併用して幹細胞採取を行う場合の特徴と注意点の解析。②患者の年齢、性別、体重、採取時間、採取処理量、採取量、採取時の末梢血データ③武蔵野赤十字病院輸血部 八木橋健太、森威典、陣場貴之、高橋裕衣、高野弥奈、武蔵野赤十字病院血液内科 長田有生、成川研介、押川学 ④研究代表者：武蔵野赤十字病院 輸血部 部長 高野弥奈
問合せ先	〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 輸血部 氏名 高野弥奈 TEL : 0422-32-3111 (代表)